

会 議 録

1 会議名

第3回 上越市教育の日制定記念事業実行委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 上越市教育の日シンボルマークのデザインについて（部分公開）
- (2) 上越市教育の日の合言葉について（部分公開）
- (3) 上越市教育の日制定記念式典について（公開）
- (4) その他（公開）

3 開催日時

平成26年10月2日（木）午前10時から正午まで

4 開催場所

教育プラザ 201会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

議題(1)及び議題(2)については、「意思形成過程に係る事項」を審議するため一部非公開としました。

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：12人中 11人出席

戸北凱惟、天野和孝、大山賢一、渡邊千一、荒木佳樹、大嶋慶子、
藤井清比古、今井一郎、河村一美、市川裕光、中野敏明

・事務局：吉田学校教育課長、笹川生涯学習推進課長、中西文化行政課長、國元体育課長

早川教育総務課長、鬼木参事、鈴木係長、渡邊主任

8 発言の内容（要旨）

(1) 上越市教育の日シンボルマークのデザインについて

戸北委員長： 上越市教育の日シンボルマークのデザインについて、事務局から説明願いたい。

事務局： 資料1にあるデザインの選考要領をご覧いただきたい。本資料については、前回、第2回の実行委員会にてお示したところだが、前回は委員よりシンボルマークのデザインの第1次審査を行っていただき、12点に絞らせていただいた。その後、上越教育大学の阿部靖子教授とともに、第2次審査を行い、12点から6点に候補を絞り込んだ。そして、阿部教授からアドバイスをいただきながら6点の作品に補正の調整をかけ、データ化したところである。本日は、最終審査ということで、委員からは最優秀賞及び優秀賞2点を選考していただきたい。資料の裏面に、最終選考方法の手順案として示させていただいた。小学生、中学生、高校生・一般の各2点を、1点ずつに絞らせていただきたい。今、資料として各委員に添付されているものは、複写の影響で色合いに若干相違があると思うが、そういった部分も考慮し、「補正による可能性」も十分考えて選考に臨んでいただきたい。そして、1点ずつ絞り込んだものから、最優秀賞を選考していきたいと思う。選考の仕方は、この場にて委員のご意見を聞きながら決めたいと思う。

戸北委員長： 事務局から説明があったが、まず6点の作品をそれぞれ1点ずつに絞り込み、その後に最優秀賞を決めるという話であった。まずはどのように選考したらよいか。なにかご意見があれば何なりと発言してほしい。

天野委員： 気になることとしては、「どこかで見たことがある」など、いわゆる著作権に係る懸念であるが、問題はないか。

事務局： 最終的には専門機関に審査を依頼することになるが、各委員の目で不適切なものがあればこの場でご意見をいただきたい。審査には多額の経費がかかる。

戸北委員長： 著作権の侵害に当たるか当たらないかという質問であった。

事務局： 選考を先に決めていきたいと思う。

(選考)

(2) 上越市教育の日の合言葉について

戸北委員長： 上越市教育の日の合言葉について事務局より説明をお願いしたい。

事務局： 資料2にある策定の目的、基本的な考え方は前回お示しさせていただ

た。取り組み状況としては、第1回目の実行委員会で、策定方針を審議してもらい、6月～7月にかけて各委員から案を寄せていただいた。その後、第2回目の実行委員会にて、事務局で整理したものを提案させていただいた。そして、前回の実行委員会で確認したことを、次のとおりまとめさせていただいた。①上越市での歴史や伝統を踏まえ、上越市らしさが表現できるものにする。具体的には、上杉謙信が春日山に額を掲げた「第一義」にちなんで、「義の心」を全体のくくりとして、現在の私たちが、上越市で大切にしたい「義の心」を考え、合言葉の内容を協議していく。②合言葉の数は、覚えやすいものとして、5つ程度に絞る。③文末表現は、「～しよう」とし、互いに呼びかける形とする。④次回の第3回実行委員会にワークショップを行い、文案を作成していく。資料の裏面をご覧いただきたい。この後、委員からワークショップを行っていただき、案を作成していただきたいと思う。なお、ファシリテーターについては、大山委員にお願いしたい。ワークショップの手順としては、まず付せん紙を用い、5つ程度に自分の考えをまとめ、わかりやすく1枚ずつ付せん紙に書いていく。そして、考えを発表した後、大洋紙に付せん紙を貼っていく。他にも同類の意見があれば、それは1グループとしてまとめる。同じような合言葉を整理して、そのグループごとにグループの表題を付けていき、表題のまとまりにより、合言葉にふさわしい言葉を5つ選んでいただき、それを用いて文章として整えてほしい。各委員からご協力のほど、よろしくをお願いしたい。

戸北委員長： ワークショップについては、不慣れな方もいらっしゃると思うが、各委員は大山委員の進行に基づき、よろしくをお願いしたい。それでは、大山委員に進行をお願いする。

(審議)

(3) 上越市教育の日制定記念事業（案）について

戸北委員長： 上越市教育の日制定記念事業（案）について事務局より説明をお願いしたい。

事務局： 資料3をご覧いただきたい。前回も同様の資料を添付させていただいたが、確認の意味で再度説明させていただく。閉会の挨拶は、上越教育大学

佐藤学長より行ってもらう。式典ならびに記念講演会の司会については、後ほど本実行委員会委員にお願いしたいと思っている。裏面に、式典の参加予定者を示させていただいた。市関係者、来賓、招待者、団体関係者やPTA、一般市民が参加し、約1,500人の参加を予定している。各委員にも案内が届いているかと思うが、それぞれの立場への案内となっており、実行委員会委員としての案内ではないことをお詫び申し上げる。ただし、当日、着席いただく席については、実行委員会委員の席として用意してあるので、よろしくお願いしたい。

また、日本教育新聞より9月22日付け発行紙にて、中野教育長が文部科学省の田村学氏との対談が掲載されている。この教育の日の制定の意義、上越市からの様々な情報が発信されていること、これから上越市が取り組む教育の方向について対談されている内容なので、ぜひご覧になってほしい。

資料として、尾木直樹氏の文化講演会のチラシと、同日に行う学び愛フェスタのチラシも添付した。学び愛フェスタでは、市内の中学生の代表が参加するまちづくりフォーラムが開催されるので、ご都合のつく方は会場に足を運んでほしいと思う。

戸北委員長： 実行委員会委員として、各委員にはぜひご参加いただきたい。

(4) その他

戸北委員長： 事務局より連絡事項等はあるか。

事務局： 連絡事項は特に無い。本日は長時間にわたり慎重な選考、審議をいただき、感謝申し上げます。以上をもって、第3回上越市教育の日制定記念事業実行委員会を閉会する。

9 問合せ先

上越市教育委員会教育総務課企画係 TEL：025-545-9243

E-mail：kyouikusoumu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。